

Q. ^{たし} ^{たいしょうてんのう} ^{てう} ^{まつ} ^{ひょうじ} 確か大正天皇のお手植え松の表示があ
^{いま} ^{れきし} ^{ぶんか} ったが。今はなくチトサビシイ。歴史・文化
^{たいせつ} も大切にしてほしい。

A. ^{たいしょうてんのう} ^{てう} ^{まつ} ^{いぜん} ^{せいもんはい} 大正天皇のお手植え松は、以前の正門入
^{だいすいきんしゃ} ^{ひがしがわ} ってすぐの大水禽舎の東側にありましたが、
^{ざんねん} ^{へいせい} ^{ねん} ^か 残念ながら平成20年に枯れてしまいました。

^{たいしょう} ^{ねん} ^{しょうわてんのう} ^{てう} しかし、大正2年に昭和天皇がお手植えされ
^{ごようまつ} ^{いま} ^{きょうと} ^{もり} ^{した} た五葉松は、今も京都の森で親しまれており

^{へいせい} ^{ねん} ^{あきしののみや} ますし、平成29年に秋篠宮
^{ふみ} ^{ひと} ^{しんのう} ^{でんか} ^{ごし} ^{さつ} 文仁親王殿下に御視察を
^{たまわ} ^{ごえん} ^{かんしゃ} 賜り、御縁に感謝し、ゆか
^{しよくぶつ} ^{しよくさい} りの植物を植栽させてい
ただいております。

昭和天皇のお手植え松



ゆかりの雨庭（梅、檜扇菖蒲、
木香茨、高野槇、等